

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

旭化成E I Cソリューションズ株式会社
(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	1,992,866,837
流動資産	[3,623,389,826]	流動負債	[1,992,866,837]
現金及び預金	11,845,109	買掛金	459,095,266
受取手形	100,728,392	未払金	1,170,886,297
売掛金	1,137,102,090	未払費用	112,165,255
電子記録債権	35,561,210	未払従業員賞与	91,009,596
製品・商標権	97,440,331	未払法人税等	15,330,600
仕掛品	155,188,062	未払り消費税	96,056,726
原材料及び貯蔵品	762,611	未払消費税	1,285,297
前払費用	12,235,707	その他	46,900,800
短期貸付	1,919,078,711		137,000
立替金	152,201,603		
仮払金	58,000		
前渡金	1,188,000		
固定資産	[75,090,808]	(純資産の部)	[1,705,613,797]
有形固定資産	(25,310,487)	株主資本	(1,705,613,797)
建物	4,778,665	資本金	100,000,000
建物付属設備	1,883,197	資本剰余金	0
構築物	3,228,752	資本準備金	0
車両及び運搬具	783,502	その他資本剰余金	0
工具、器具及び備品	14,066,371	利益剰余金	(1,605,613,797)
建設仮勘定	570,000	利益準備金	25,000,000
無形固定資産	(3,701,957)	その他利益剰余金	75,000,000
のれん	0	別途積立金	1,505,613,797
ソフトウェア	3,211,957	繰越利益剰余金	
会員権	200,000		
建設仮勘定	290,000		
投資その他の資産	(46,078,364)		
繰延税金資産	43,539,789		
差入保証金	2,538,575		
資産合計	3,698,480,634	負債・純資産合計	3,698,480,634

(第46期)

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産

製	品	品	品	品
仕	掛	品	品	品
貯	蔵	品	品	品

品……総平均法による原価法
品……個別法による原価法
品……総平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産……定額法

(2) 無形固定資産……定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金……貸倒実績率による

4. 収益及び費用の計上基準

完成工事高及び完成工事原価の計上基準

当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を適用し、その他の工事については、工事完成基準を適用している。なお、工事進行基準を適用する工事の当事業年度末における進捗度の見積りは、原価比例法によっている。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用している。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記)

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法の変更

従来、当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、主として定率法を採用していたが、当事業年度より定額法に変更している。この変更は、当社の親会社である旭化成株式会社が有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更することを契機として、有形固定資産の償却方法の検討を行った結果、当社の有形固定資産は、長期的かつ安定的に稼働し、当社の安定的な収益の獲得に貢献することが見込まれることから、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが、有形固定資産の使用実態をより適切に反映する費用配分方法となるとともに、当社により適切な業績管理に資すると判断したことによるものである。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ2.5百万円増加している。

(表示方法の変更に関する注記)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う繰延税金資産・負債の表示方法の変更

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号）を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示している。

繰延税金資産の表示方法の変更

繰延税金資産の表示方法は、従来、貸借対照表上、流動資産（前事業年度38百万円）に含めて表示していたが、重要性が増したため、当事業年度より、投資その他の資産（当事業年度44百万円）と表示している。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額	152,240千円
2. 関係会社に対する短期金銭債権	145,770千円
3. 工事進行基準適用による売掛金額	221,763千円
4. みなし決済額	1,212千円

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社及び法人主要株主等

属性	会社名	当該株式会社の議決権等の所有割合	当該関連当事者の議決権等の所有割合	科目	期末残高 (千円)
親会社	旭化成(株)	—	—	売掛金	474,777
親会社	旭化成(株)	—	—	短期貸付金	1,919,079
親会社	旭化成エンジニアリング(株)	—	100%	売掛金	202,447